

## 出雲市水道料金等審議会【第2回】 会議録

1. 開催日時 平成30年4月20日(金) 14:30~16:00 (※会議時間)
2. 開催場所 出雲市上下水道局 来原浄水場 会議室
3. 会議の出席者

(1) 委員(出席10名、欠席2名)

足立幹男 委員	飯野公央 委員	糸原直彦 委員(会長)	今井順一 委員
上田務 委員	太田千恵 委員	長岡明生 委員	船越均 委員
松尾英子 委員	横田笑子 委員		

※欠席: 小村慎二 委員、山根由美 委員(副会長)

(2) 出雲市(9名)

上下水道局	次長(兼水道営業課長) 佐藤恵子		
水道営業課	課長補佐 妹尾俊彦、係長 新宮弘子、主任 上原和也、主任 岡貴行		
水道施設課	課長 岡芳幸、主査 宮本俊之	浄水管理室	室長 内部郁男

#### 4. 次第

##### 1. 視察

- (1) 新向山第2配水池、向山配水池
- (2) 来原浄水場

##### 2. 会議

- 1) あいさつ
- 2) 議題

- 出雲市水道事業の施設状況【資料1】～【資料3】
- 給水戸数について【資料4】
- 平成30年度 予算概要【資料5】
- 4月9日未明に発生した地震への対応について【資料6】  
～事務局説明～

#### 〔質疑等〕

委員) 留保資金が少なくなっている主な要因はなんでしょうか。

事務局) 留保資金年度末残高については、向山配水池等再構築事業の継続費、主要管路の二条化、平成29年度からの簡易水道事業統合が主な要因です。

簡易水道事業については、福祉的な事業という観点から市の特別会計により税金を投入しながら採算をとってききましたが、国の指導の下、全国一律に水道事業に統合したことから、留保資金が減少しているという状況です。

委員) お金としては、どれくらい影響がありますか。

**事務局)** 簡易水道事業は、平成 28 年度決算で 5 億円程度一般会計から繰入金がありましたので、大ざっぱな言い方をすると、それを水道料金で補わないといけないというイメージです。

**委員)** 基幹管路や 75 mm以上の管路を優先して、更新していくということでしたが、50 mm以下の管路は修繕で対応できるものでしょうか。

**事務局)** 管路延長が長く、全てを更新計画とするのは経費や人力的に難しいため、断水等した場合の影響の大きいところから優先的に行いたいと考えています。また、50 mm以下ですと漏水等が発生しても、影響範囲も少なく修繕で対応できると考えています。

ただし、漏水等が頻発する区間については、計画をしていくこととなりますが、計画段階で線引きをしているところです。

**委員)** 将来的にも方針は、変わらないでしょうか。

**事務局)** 現状では、全ての管路や構造物等を更新計画とするのは、経費や人力的に現実的ではないと考えています。

**委員)** 取水は井戸ということですが、斐伊川でないのはなぜですか。

**事務局)** 河川の水を取水するためには、水利権が必要ですが、出雲市水道事業には斐伊川の水利権がないためです。

平田の灘分浄水場は、水利権を持っています。

**委員)** 簡易水道事業の統合については、法律で定められたことでしょうか。

**事務局)** 第 1 回の審議会でも説明させていただきましたが、平成 19 年に今後の簡易水道施設の整備について、国において補助要件の見直しが行われたため、補助金なしの税金だけで、簡易水道を運営し続けるのは困難であることから、簡易水道事業統合の選択をせざるを得なかったところです。

出雲市を含めた簡易水道事業統合を進めてきた、市町村においては、厳しい状況があり、料金の見直しについて検討されているところが多くなっています。

**委員)** 斐川地域はなぜ独立しているのですか。

**事務局)** 平成 17 年に市町村合併のときは、一つの市町に一つの水道事業であったため、合併と同時に事業統合していますが、平成 23 年に斐川町が合併したときは、斐川町の水道事業は、斐川町と松江市(旧宍道町)で構成される斐川宍道水道企業団が運営しており、水道料金や施設管理の問題や一部事務組合であるため、市町の合併と同時にありませんでした。

現在も議論は、進んでいるが一緒になることには至っていない状況です。

委員) 先般の地震に関連した新聞記事で、飲料水供給施設は、簡易水道や上水道のような事業に該当しないとあり、前回の説明で簡易水道事業と上水道事業は、給水人口規模によって区別されていると思っておりますが、そこにも入らない水道施設があるのですか。

事務局) 給水区域内人口の規模によって、名称が異なりそれぞれで管理を行っているため、新聞には簡易水道や上水道のような事業に該当しないと掲載されていると思われま

す。  
出雲市にも【資料2】で多久谷畑系と記載してある地域が飲料水供給施設ですが、出雲市水道事業では、一緒に管理しております。

委員) この審議会の議論の射程がよく分からなくなっており、料金等審議会なので、最終的には料金をどうするかという議論であろうかと思いますが、簡水統合についての話もありましたが、国は地方自治体に対して、将来的にはコンセッションを求めているのではないかと思います。

しかし、管路延長が長い出雲市のような自治体は非常に厳しい。そこで、料金のことを議論するのみでよいのか、射程をどこまで考えたらよいのか教えてほしい。

事務局) 次回回答します。

### 3. 開催スケジュール (予定)・次回開催日程【資料7】

開催スケジュール (予定) の説明

次回開催日時：平成30年6月1日 (金) 14時から16時